

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループビジョン

2035年度のありたい姿実現に向け、サステナビリティ経営を推進し企業価値向上と社会課題解決を両立する

税引前利益
4,000億円

総資産
7.5兆円

ROE
9～10%

アセット比率
40：60市況享受型：安定

② 中長期の経営戦略

1. ポートフォリオ戦略

ROA目標設定と資本効率改善で、高リターン市況享受型と安定収益型のバランス最適化。IFRS早期適用とM&A推進によるポートフォリオ変革加速

3. 環境戦略

環境ビジョン2.2下で、2020年代ネットゼロ・エミッション外航船就航準備。クリーン燃料調達とサプライチェーン参画で業界全体をリード

2. 地域戦略

グローバルな事業推進体制へ移行。地域部門主導のM&Aと非海運を中心とした新規事業開発促進

4. ドライバルク事業

脱炭素関連新規貨物（バイオ燃料・穀物・肥料・スクラップ鉄など）の輸送需要取り込み。グローバル営業ネットワーク整備と市況エクスポージャー拡大

③ 対処すべき課題

① 事業ポートフォリオ変革

- ・海運市況軟調時でも黒字維持できる構成へのリバランス
- ・安定収益型事業の比重拡大と非海運事業の成長
- ・スピード感を持ったM&A推進による効率的な変革実現

② 環境・脱炭素対応

- ・2050年グループ全体ネットゼロ・エミッション達成
- ・2020年代ネットゼロ・エミッション外航船就航準備
- ・クリーン燃料サプライチェーン構築への業界リード

③ 事業領域の多角化推進

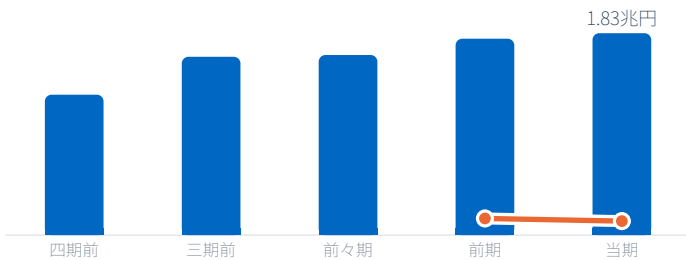
- ・エネルギーシフト対応（クリーンメタノール・LPG・アンモニア船整備）
- ・洋上風力・CCUS事業参画の拡大
- ・ウェルビーイングライフ事業（不動産・フェリー・クルーズ）の非海運柱化

面接で使えるポイント

- ・BLUE ACTION 2035で2035年度に税引前利益4,000億円・総資産7.5兆円を目指し…
- ・環境ビジョン2.2の下で2020年代ネットゼロ・エミッション外航船就航に向け、クリーン燃料導入をリードする環境戦略
- ・Methanex社との提携やコンテナ船ONE発足のメリット維持など、パートナーシップを活かした事業成長と競争優位構築

証券コード 9104

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高

1.83兆円

営業利益率

7.0%

財務健康度

48点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 67.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,660万円

海運業内 1位/11社

平均年齢

38.4歳

海運業内 7位/11社

平均勤続

12.9年

海運業内 8位/11社

女性管理職

10.4%

海運業内 3位/8社

男性育休

69.8%

海運業内 5位/6社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 商船三井ミュージアム「ふねしる」1周年記念特別展『せんいんに

要するに
外航海運業を中心とするグローバル企業

主力事業・セグメント

- ・エネルギー 43.2%
- ・DryBulk 37.5%
- ・Ferries・CoastalR 6.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1.83兆円の大企業
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

